

事前質問表 視察先:日野市クリーンセンター

埼玉中部環境保全組合新たなごみ処理施設等建設検討委員会

番号	種別	ご質問	ご回答
1	プラスチック類	プラスチック類の圧縮梱包品は一日どれぐらいでしていますか。	一日30個~50個で一個約270kgです。 年末年始・年度末は多くなる傾向です。 大型トラックで一回に32個出荷しています。
2	不燃・プラスチック類	これまでリチウムイオンバッテリーなどによる事故は発生したことはありますか。またどのような対策を講じていますか。	リチウムイオンバッテリーによる施設の大きな事故はありませんが、不燃物処理手選別工程で取りこぼしたリチウムイオンバッテリーが破砕機に投入された場合の発火は日常的に起こります。施設運転終了時にコンベア上にごみを残さない・各所散水などの対策を行っています。 また、プラスチック類処理手選別工程では風力選別機を使い比重の重い物(金属質)の選別が行いやすいように工夫をしています。
3	プラスチック類	プラスチック類は分別を行うほど増加していく傾向と想像できますが、過去の処理量の推移を教えてください。	別資料 日野市の清掃概要(令和4年度版) P2 2.ごみ量の推移参照
4	施設見学	貴施設の施設見学の実績について教えてください。可能であれば内訳までお願いします。	令和5年度は62件1072名 別資料 (令和5年度プラスチック類資源化施設 施設見学実績総計)
5	全般	プラスチック類の選別圧縮施設や粗大ごみ処理施設でのVOC(揮発性有機化合物)対策はされていますか。	脱臭装置等の対策をおこなっております。
6	浸水対策	貴施設は河川の氾濫などによる浸水が想定されていると思いますが、盛土や建築計画、建築設備による対応はどのようにされているのでしょうか。	水害等があった場合施設の早期復旧が出来るよう、施設運営に係る重要な機能は2階以上に設置してあります。
7	その他	有害ごみとして回収したリチウムイオンバッテリーのなかで、一般社団法人JBRCで回収していただけないものはどのように処理されていますか。	JBRC 以外のバッテリーの処理については民間企業の野村興産イトムカ鉱業所で蛍光灯と共に水銀の無害化を含めたリサイクルをおこなっています。
8	日野市施策	ごみ改革後の収集費用はどの程度増加しましたか。そのうち戸別回収を始めた影響はどれぐらいでしょうか。	別資料 日野市の清掃概要(平成15年度版) P4 9.ごみの処理費参照

番号	種別	ご質問	ご回答
9	日野市施策	ごみ有料化(袋の販売)を行っているようですが、価格の何割ぐらいが市の収入になるのでしょうか。	別資料 日野市清掃概要(令和4年度版) P4 8.ごみの処理費 9.指定収集袋の歳入による実績 参照
10	日野市施策	ごみの有料化を行っているようですが、不法投棄や野焼き等の不適正な処理は増加しましたか。	不法投棄を懸念して市ではごみパトロール隊を準備し活動を行っております。また市のホームページで不法投棄や野焼きについて条例違反や犯罪になる事も常にお知らせしています。市民の皆様のモラルに頼ってしまう部分ですが、ご理解いただいていると考えています。
11	日野市施策	ごみ改革前後でかなりのごみ量が削減しているようですが、減った分のごみは資源化されたということでしょうか。	平成12年の第一次ごみ改革後、ごみ量は半減し資源化率も3倍と増えました、今現在は市民の皆様のごみ減量意識の高まりもあって大きく削減されていると考えています。
12	日野市施策	ホームページで紙おむつ専用の収集袋の無料配布について記載がありますが、紙おむつのリサイクルしているのでしょうか。	紙おむつの専門のリサイクルは行っておりません。 市民サービスの一環として紙おむつ収集袋の無料配布をおこなっていますが、すべて可燃ごみと同じルートで回収し焼却されます。

日野市の清掃概要

(平成15年度版)

日野市クリーンセンター

〒191-0021

日野市石田1-210-2

電話：581-0444

FAX：586-6606

1 分別収集

種別	収集方法	排出方法	収集回数
可燃ごみ	原則戸別収集	・市指定有料袋（緑色・半透明） 家庭用ミニ袋（50）＝10円 小袋（100）＝20円 中袋（200）＝40円 大袋（400）＝80円 事業系小袋（150）＝100円 特大袋（450）＝300円	週2回
不燃ごみ	原則戸別収集	・市指定有料袋（橙色・半透明） 家庭用ミニ袋（50）＝10円 小袋（100）＝20円 中袋（200）＝40円 大袋（400）＝80円 事業系小袋（150）＝100円 特大袋（450）＝300円	週1回
有害ごみ	原則戸別収集	・無料 乾電池・水銀体温計はポリ袋、蛍光灯は購入時の箱等	週1回 (不燃ごみと同日収集)
粗大ごみ	原則戸別収集	・品目別料金シール貼付制（電話申し込み） (品目により200円～3,000円)	随時
資源物	原則戸別収集	・無料9品目回収 (新聞・雑誌雑紙類・段ボール・牛乳パック類・古着古布類・かん・びん・ペットボトル・トレイ類)	2週に1回

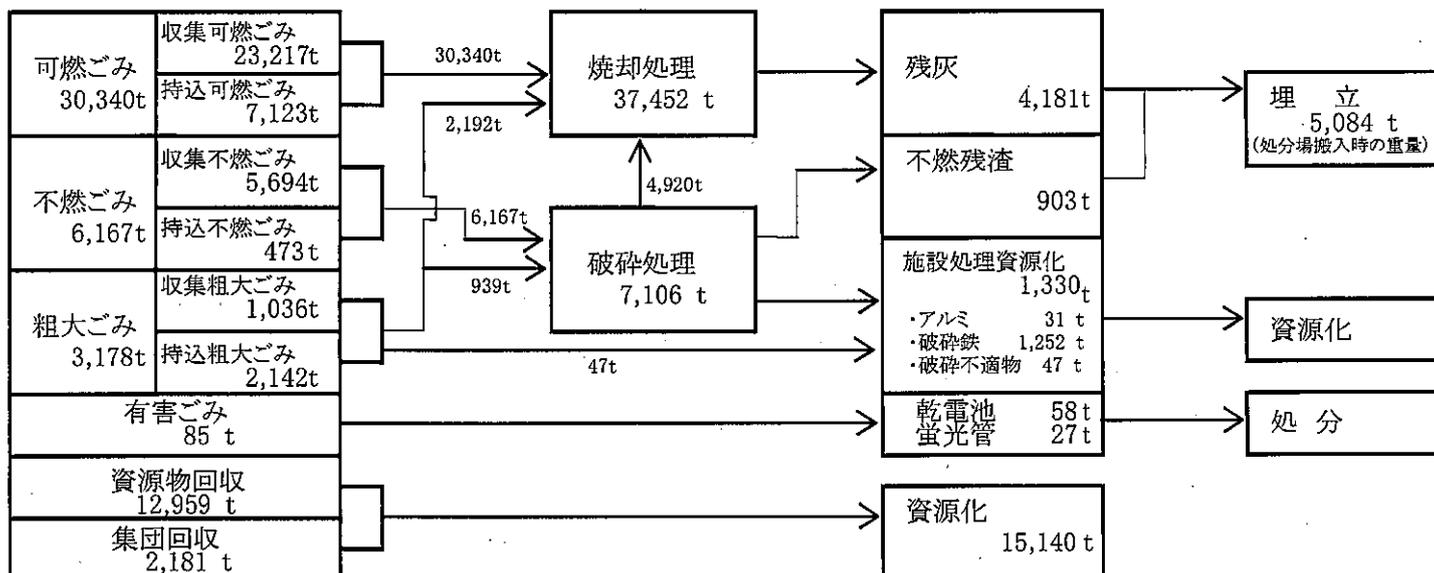
- ※ 平成12年9月までダストボックス収集（可燃・不燃）。平成12年10月から原則戸別収集及び市指定有料袋制
- ※ 市指定有料袋は1枚当たりの手数料
- ※ 事業系ごみ（可燃・不燃）は1回の排出量が900以下の事業所のみ収集

2 ごみ量の推移

年度	総ごみ量(t)	内 訳 (t)						持込量	1人1日当たり排出量 (g)	1人年間排出量 (kg)	10/1日現在人口 (人)
		収 集 量									
		可 燃	不 燃	粗 大	有 害	資 源 物	小 計				
11	62,808	40,299	11,088	796	51	3,810	56,044	6,764	1,042	381	164,635
12	59,842	32,895	9,429	1,083	64	8,286	51,757	8,085	994	363	164,948
13	50,941	23,001	5,070	1,000	82	12,605	41,758	9,183	841	307	166,016
14	52,081	23,229	5,335	1,033	87	12,818	42,502	9,579	854	312	167,176
15	52,729	23,217	5,694	1,036	85	12,959	42,991	9,738	848	310	169,887

- ※ 1人1日当たり排出量 (g) は総ごみ量÷各年10/1現在人口÷365日で算出。ただし、H11年度及びH15年度は366日計算
- ※ 1人年間排出量 (kg) は総ごみ量÷各年10/1現在人口で算出
- ※ 10/1現在人口 (人) は外国人登録含む

3 ごみの行方 (平成15年度)



4 資源物回収状況

(1) 市事業

単位：kg

年 度	11	12	13	14	15
スチールかん	92,393	213,900	348,160	323,590	311,100
アルミかん	68,866	131,749	209,638	219,289	219,706
びん	1,057,433	1,250,060	1,420,236	1,408,600	1,385,311
新聞	938,630	2,229,153	3,265,165	3,286,470	3,111,780
雑誌・雑紙類	956,470	2,662,641	4,287,500	4,429,150	4,716,970
段ボール	381,290	867,547	1,409,650	1,463,430	1,471,790
牛乳パック類	37,741	68,908	103,105	108,285	112,327
古着・古布類	168,240	545,410	876,026	874,510	924,160
ペットボトル	91,123	236,111	473,065	509,610	519,193
トレイ類	17,846	80,321	212,425	194,840	187,017
合 計	3,810,032	8,285,800	12,604,970	12,817,774	12,959,354

※ 平成5年10月から平成12年9月までステーション回収（市内全域420箇所）。平成12年10月から原則戸別回収（市内全域）

※ トレー類は平成12年9月まで発泡トレーのみ回収、10月以後は発泡スチロール（発泡トレー含む）とプラスチックボトルを回収

(2) 集団回収

単位：kg

年 度	11	12	13	14	15
紙 類	2,590,673	2,558,498	2,324,306	2,121,955	2,068,600
布 類	114,266	142,491	86,315	81,014	80,783
金 属 類	24,667	30,370	29,368	28,175	25,901
ガ ラ ス 類	21,609	16,221	9,218	7,179	5,237
プラスチック類	110	3,720	2,491	-	-
合 計	2,751,325	2,751,300	2,451,698	2,238,323	2,180,521
奨 励 金	22,432,037	22,531,849	20,085,596	18,329,368	17,846,053
実働団体数	134	130	122	111	111

※ 平成14年度からプラスチック類について対象品目から廃止

(3) 資源化率

年度	8	9	10	11	12	13	14	15
資源化率	11.7%	11.9%	13.0%	13.8%	21.0%	29.6%	30.0%	30.0%

※ 資源化率 = $\frac{\text{資源ごみ量} + \text{施設処理資源化量} + \text{集団回収量}}{\text{総ごみ量} + \text{集団回収量}}$

5 廃棄物広域処分場搬入配分量

単位：m³

年 度	12	13	14	15	16
搬入配分量	6,815	6,584	6,346	6,329	6,292

※ 15年度までは確定値、16年度は暫定値

6 廃棄物広域処分場埋立実績（処分場計量・日野市分）

単位：m³、（ ）内はt換算

年 度	11	12	13	14	15
焼却残灰	5,307(6,525)	3,983(4,958)	3,442(4,551)	3,437(4,328)	3,331(4,181)
破碎不燃	2,040(2,020)	2,383(1,632)	931(482)	1,699(951)	1,503(903)
合 計	7,347(8,544)	6,366(6,590)	4,373(5,033)	5,136(5,278)	4,834(5,084)

【換算係数】 11年度＝残灰0.81/不燃1.01 12年度＝残灰0.80/不燃1.46

13年度＝残灰0.76/不燃1.93 14年度＝残灰0.79/不燃1.79 15年度＝残灰0.80/不燃1.66

※ 四捨五入の関係で合計が異なる場合がある

7 し尿収集量の推移

年 度		11	12	13	14	15
人 口 (人)	総 人 口	164,736	164,699	166,027	167,592	170,317
	公共下水道	103,226	126,508	126,757	129,310	137,781
	浄 化 槽	51,417	28,339	29,627	28,856	23,274
	汲 み 取 り	10,093	9,852	9,643	9,426	9,262
軽減証発行数(枚)		9,044	8,968	7,427	6,030	5,234
収集量 (kℓ)	し 尿	4,819	3,945	3,849	3,931	3,658
	浄化槽汚泥	23,156	22,645	18,785	15,357	14,486
	雑 排 水	2,219	1,427	666	928	948
	合 計	30,194	28,017	23,300	20,216	19,092
1日当たり収集量(kℓ)		82	77	64	55	52

※ 人口は、各年度末人口

8 ダイオキシン類排出濃度測定値

単位：ng-TEQ/m³N

年 度	11		12		13		14		15	
測定値	1号炉	5.9	1号炉	23.0	1号炉	0.033	1号炉	0.020	1号炉	0.024
	2号炉	9.0	2号炉	11.0	2号炉	0.00085	2号炉	0.032	2号炉	0.034

※ ng…ナノグラム：10億分の1グラム

TEQ…ダイオキシン類のそれぞれの毒性を2・3・7・8-四塩化ダイオキシンに換算したもの
m³N…0℃、1気圧時の気体の体積

※ 平成10年度から平成13年度にかけてダイオキシン削減対策工事施工

9 ごみの処理費

戸別収集、有料化開始

年 度	11	12	13	14	15
発生抑制費(千円)	55,513	120,906	97,540	86,197	85,548
収集運搬費(千円)	736,887	1,097,223	1,168,794	1,190,869	1,167,714
中間処理費(千円)	849,962	974,853	953,283	902,109	886,276
最終処分費(千円)	413,553	481,516	489,416	434,116	383,293
合 計(千円)	2,055,915	2,674,498	2,709,033	2,613,291	2,522,831
総ごみ量(t)	62,808	59,842	50,941	52,081	52,729
1t当たり経費(円)	32,733	44,693	53,180	50,177	47,845
1人当たり経費(円)	12,488	16,214	16,318	15,632	14,856

※ 工事費及び大規模修繕費は含まれていない

※ 1t当たり経費は、ごみ処理費の合計÷総ごみ量で算出

10 資 料



1 分別収集

種別	収集方法	排出方法	収集回数
可燃ごみ	原則戸別収集	・市指定有料袋（緑色・半透明） 家庭用ミニ袋（5ℓ）＝10円 小袋（10ℓ）＝20円 中袋（20ℓ）＝40円 大袋（40ℓ）＝80円 事業系小袋（15ℓ）＝100円 特大袋（45ℓ）＝300円	週2回
プラスチック類ごみ	原則戸別収集	・市指定有料袋（青色・半透明） 可燃ごみと同じ	週1回
不燃ごみ	原則戸別収集	・市指定有料袋（橙色・半透明） 可燃ごみと同じ	4週に1回
有害ごみ	原則戸別収集	・無料 乾電池・水銀体温計はポリ袋、蛍光管は購入時の箱等 ビデオテープ、ライター、スプレー缶を平成17年11月より有害ごみとして分別収集開始	週1回 (プラごみと同日収集)
粗大ごみ	原則戸別収集	・品目別料金シール貼付制（電話申し込み） (品目により200円～3,000円)	随時
資源物	原則戸別収集	・無料回収9品目 雑誌・雑紙類、段ボール、紙パック類、古着・古布、かん、びん ペットボトル、新聞、小型家電・金属類	2週に1回 4週に1回

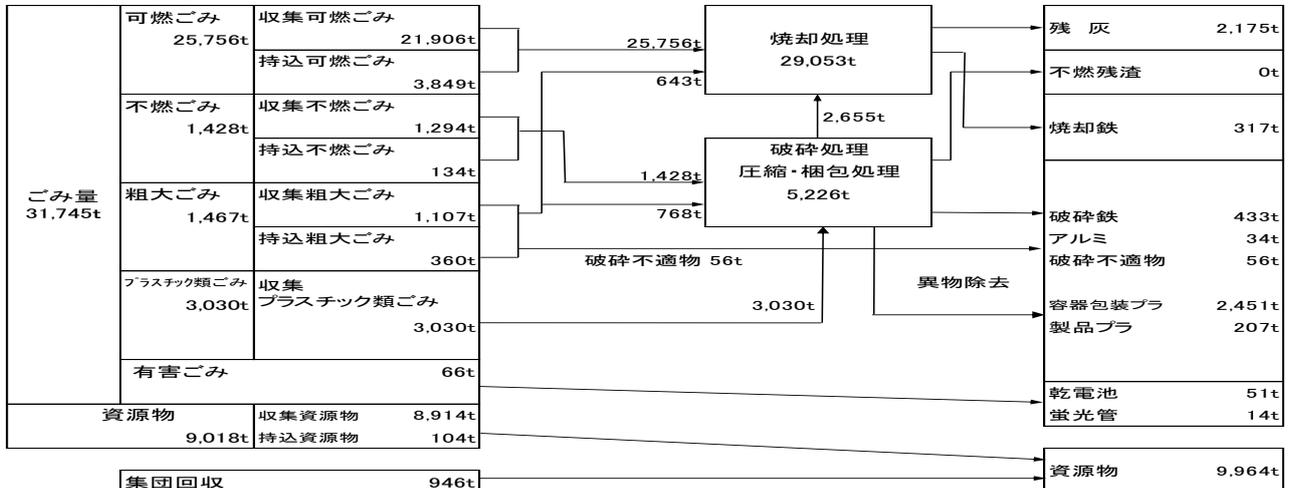
- ※ 平成12年9月までダストボックス収集（可燃・不燃）。平成12年10月から原則戸別収集及び市指定有料袋制。
- ※ 市指定有料袋は1枚当たりの手数料。 ※ 事業系ごみ（可燃・不燃）は1回の排出量が90ℓ以下の事業所のみ収集。
- ※ 平成25年4月から小型家電・金属類の回収を始める。（平成27年4月よりパソコンの回収を開始）
- ※ 令和2年1月からプラスチック類ごみの収集を始める。（これまでのトレー等の収集は廃止）

2 ごみ量の推移

年度	総ごみ量 (t)	内 訳 (t)								持込量 (持込資源物を含む)	1人1日当たり排出量 (g)	1人年間排出量 (kg)	10/1日現在人口 (人)
		可燃	不燃	プラスチック	粗大	有害	資源物	小計					
12	59,842	32,895	9,429	0	1,083	64	8,286	51,757	8,085	994	363	164,948	
29	42,225	22,224	5,089	0	1,063	56	8,846	37,278	4,947	627	229	184,478	
30	41,744	22,126	5,081	0	1,063	64	8,696	37,030	4,714	617	225	185,330	
元	42,642	22,495	4,182	838	1,181	67	8,892	37,655	4,987	625	229	186,285	
2	43,175	22,464	1,474	3,239	1,207	69	9,554	38,007	5,168	633	231	186,992	
3	42,108	22,286	1,325	3,141	1,194	69	9,169	37,184	4,924	616	225	187,293	
4	40,763	21,906	1,294	3,030	1,107	66	8,914	36,317	4,447	596	218	187,391	

- ※ 1人1日当たり排出量 (g) は総ごみ量÷各年10/1現在人口÷365日で算出。ただし、令和元年度は366日で算出。
- ※ 1人年間排出量 (kg) は総ごみ量÷各年10/1現在人口で算出。 ※ 10/1現在人口は外国人登録を含む。
- ※ 平成23年4月より持込み料金を25円/kg → 42円/kgに改定

3 ごみの行方



※四捨五入の関係で合計欄の値と内訳の合計が一致しない場合があります。

4 資源物回収状況

(1) 市事業

単位：kg

年 度	H29	H30	R1	R2	R3	R4
スチールかん	157,940	151,680	162,627	178,370	165,350	160,840
アルミかん	193,872	200,218	203,103	246,609	261,734	256,754
びん	1,261,130	1,214,750	1,218,850	1,349,600	1,332,080	1,319,800
新聞	404,530	325,980	306,530	295,800	295,300	261,410
雑誌・雑紙類	3,480,080	3,372,430	3,373,680	3,283,840	3,045,990	2,979,520
段ボール	1,548,630	1,528,330	1,651,240	1,998,420	1,921,120	1,992,750
紙パック類	53,949	53,640	53,510	59,960	56,090	52,180
古着・古布類	947,120	942,700	1,033,520	1,176,180	1,198,140	1,044,930
小型家電・金属類	333,080	378,830	408,960	559,030	474,390	409,470
ペットボトル	363,070	375,500	373,820	405,880	419,250	435,940
トレイ類	157,890	151,620	105,790	-	-	-
合 計	8,901,291	8,695,678	8,891,630	9,553,689	9,169,444	8,913,594

※ 令和2年1月より、プラスチック類ごみの分別収集を開始。(トレイ類含む)

(2) 集団回収

単位：kg

年 度	H29	H30	R1	R2	R3	R4
スチールかん	14,688	13,737	11,872	6,867	6,658	6,197
アルミかん	41,316	39,206	35,756	31,519	31,667	29,665
びん	173	199	106	0	0	0
新聞	594,843	521,604	452,599	323,043	318,328	291,988
雑誌・雑紙類	564,080	535,614	523,332	411,050	385,885	351,012
段ボール	290,264	286,135	278,291	243,010	241,134	233,846
紙パック類	14,866	15,406	14,210	10,565	10,996	10,468
古着・古布類	104,791	106,074	109,188	34,571	11,687	22,700
合 計	1,625,021	1,517,975	1,425,354	1,060,625	1,006,355	945,876
奨励金	13,957,540	13,050,302	12,250,684	9,020,823	8,724,179	8,216,311
実働団体数	108	108	109	100	89	86

(3) 総資源化率

年 度	H12	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
総資源化率	21.0%	34.9%	34.9%	34.1%	34.4%	39.2%	38.4%	37.5%

$$\text{※ 総資源化率} = \frac{\text{(資源ごみからの資源化量} + \text{集団回収量} + \text{収集後資源化量)}}{\text{(総ごみ量} + \text{集団回収量)}}$$

5 廃棄物広域処分場搬入配分量と搬入実績

年 度		H29	H30	R1	R2	R3	R4
焼却 残灰	配分量	3,372 t	3,572 t	3,591 t	3,573 t	3,559 t	3,539 t
	実 績	3,740 t	3,653 t	3,468 t	2,924 t	2,379 t	1,969 t
不燃 残渣	配分量	0 m ³					
	実 績	0 m ³					
	(t換算)	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

6 し尿収集量の推移

年 度		H29	H30	R1	R2	R3	R4
収 集 量 (kℓ)	し 尿	1,043	1,039	1,004	899	740	630
	浄化槽汚泥	5,251	4,836	4,688	4,743	4,529	4,059
	雑 排 水	4	2	1	21	0	51
	合 計	6,298	5,877	5,693	5,663	5,269	4,740
1日当たり収集量(kℓ)		17	16	16	16	14	13
軽減証発行数(枚)		1,116	1,281	1,242	1,184	1,152	1,129

7 ダイオキシン類排出濃度測定値

単位：ng-TEQ/m³N

年 度	H30		R1		R2	R3	R4
測定値	1号炉	0.072	1号炉	0.170	※浅川清流環境 組合にて測定	※浅川清流環境 組合にて測定	※浅川清流環境 組合にて測定
		0.052		0.230			
	2号炉	0.015	2号炉	0.010			
		0.0019		0.006			

※ 排出規制値：1ng-TEQ/m³N 平成25年度以降については、年2回、測定を実施。
 ng…ナノグラム：10億分の1グラム
 TEQ…ダイオキシン類のそれぞれの毒性を2・3・7・8-四塩化ダイオキシンに換算したもの。
 m³N…0℃、1気圧時の気体の体積

8 ごみの処理費

年 度	H12	H30	R1	R2	R3	R4
発生抑制費(千円)	120,906	82,698	95,488	268,420	256,523	84,663
収集運搬費(千円)	1,097,223	979,863	1,003,015	1,034,363	1,105,573	1,106,582
中間処理費(千円)	974,853	2,266,982	3,773,054	926,520	882,152	972,325
最終処分費(千円)	481,516	513,537	509,548	425,979	375,498	350,813
合 計(千円)	2,674,498	3,843,080	5,381,106	2,655,282	2,619,746	2,514,384
総ごみ量(t)	59,842	41,744	42,642	43,175	42,108	40,763
1t当たり経費(円)	44,693	92,063	126,193	61,501	62,215	61,683
1人当たり経費(円)	16,214	20,736	28,886	14,200	13,987	13,418

※ 1t当たり経費は、ごみ処理費の合計÷総ごみ量で算出。

9 指定収集袋の歳入による実績

単位：円(上段)

年 度	H29	H30	R1	R2	R3	R4
家庭用可燃用袋	258,335,240	257,306,730	256,468,870	267,629,090	276,056,290	274,989,300
	7,424,630枚	7,391,816枚	7,358,588枚	7,780,049枚	7,995,635枚	7,937,917枚
家庭用不燃用袋	153,901,300	150,731,180	108,267,570	20,281,740	18,232,240	17,531,360
	3,612,290枚	3,526,217枚	2,532,456枚	474,225枚	434,535枚	425,403枚
家庭用プラスチック用袋			71,816,000	149,393,500	152,473,880	149,863,000
			1,849,700枚	3,773,102枚	3,819,506枚	3,765,000枚
事業系可燃用袋	17,557,000	16,396,000	16,412,000	15,940,000	16,643,000	17,456,000
	68,530枚	68,660枚	64,920枚	63,840枚	68,070枚	69,560枚
事業系不燃用袋	8,747,000	7,839,800	7,839,800	1,376,000	1,239,000	1,107,000
	32,970枚	31,646枚	20,520枚	5,500枚	5,570枚	4,770枚
事業系プラスチック用袋			4,008,000	5,874,000	6,346,000	5,922,000
			17,500枚	23,340枚	25,860枚	23,860枚
合 計	438,540,540	432,273,710	462,356,440	460,494,330	470,990,410	466,868,660
	11,138,420枚	11,018,339枚	11,843,684枚	12,120,056枚	12,349,176枚	12,226,510枚

10 資源物売却による歳入実績(資源物回収分)

単位：円

年 度	H29	H30	R1	R2	R3	R4
資源物回収分	66,213,748	62,462,993	67,416,390	48,094,803	76,039,954	125,674,877
施設処理資源化分	1,255,020	1,081,750	1,259,375	451,730	9,868,490	17,326,898
合 計	67,468,768	63,544,743	68,675,765	48,546,533	85,908,444	143,001,775

※ 平成23年度より破砕鉄、平成24年度より焼却鉄を売却。平成25年度より小型家電・金属類を売却したが、平成30年度より小型家電については逆有償に。平成27年度より破砕不適物の売却を行ったが、平成28年度に逆有償に戻る。

令和5年度 プラスチック類資源化施設 施設見学実績総計 (62件 合計1072名)

月別	人数									件数			
	議会・ 行政視察等 人数	団体見学					個別見学			議会・ 行政視察	団体見学		個別見学
		学校	一般		小計				学校		その他		
児童数	職員数	子ども	大人	子ども		大人	小計						
4月	0	0	0	0	10	10	0	1	1	0	0	1	1
5月	16	0	3	0	0	3	0	0	0	2	1	0	0
6月	3	81	7	0	96	184	0	0	0	1	2	4	0
7月	33	126	6	51	67	250	0	0	0	2	1	5	0
8月	6	0	6	9	8	23	2	3	5	1	2	3	3
9月	2	7	1	0	9	17	0	2	2	1	2	2	2
10月	15	156	10	0	10	176	1	8	9	1	1	1	3
11月	7	86	6	0	55	147	2	3	5	1	3	3	2
12月	0	3	0	0	3	6	0	0	0	0	1	1	0
1月	49	0	0	0	1	1	0	0	0	2	0	1	0
2月	3	14	6	0	2	22	0	0	0	1	1	1	0
3月	0	0	0	21	55	76	0	1	1	0	0	2	1
年度間 合計	134	473	45	81	316	915	5	18	23	12	14	24	12

※ひのエコ研修は一般大人を含む

※その他はごみ探検隊3日間見学者含む

※職場体験含む

※職場体験含む

※職場体験含む

※その他は映像支援隊春イベント含む

※ 小学校教員の実際は小学校職員数に含む